

皆は運う進路があります。ヒルヒロンアソドラスアラシスJ
高校は通常、自分の進路について考え始める時です。私は国で勉強したくなが、たんです。別にグアテマラが嫌いなのではなひけれど教育はそんなに良くないからです。けれどもお金がありません。一緒に奨学金を探し始めました。いろいろな国の奨学金を見つけてましたが、一番行きました。た所は日本でした。家族と相談をする時には「ちょっと遠いと思います。」と言われました。でも、もう私を決心したので誰にも止められませんでした。友達と一緒に日本に奨学金に申し込んだり数学の先生に頼んで数学を勉強したりしました。試験の日になりました。その日は学校を休みました。多分あの日が一番緊張した日でした。それから、そのままたちましました。その日に学校の後で電話がかかってくるきました。電話は日本大使館からでした。「試験に通りま

した。」と聞いてとても嬉しくなりました。一番良い所は友達も試験に通りました。まだ面接の試験がありました。一緒に日本へ勉強しに行くことができればすごいことだと思いました。それで日本語を勉強し始めました。そして十一月になりました。ある日の夜遅くに電話がかかってきました。電話は友達からでした。「あなたのメールをチェックしてみよ。」と珍しい声で言いました。メールによると奨学金を受けられることが決まりました。この日は幸せな日です。あった喜びを分かち合いました。次の火曜に日本語の授業がありました。友達も来ませんでした。なぜが分かりませんでした。次の木曜日の授業に彼は来ました。彼は「私に奨学金を受けられませんか。」と言いました。その時に真実の悲しみと真の幸福がわかりました。皆は違う道路があります。人生のチャンスは皆違う時に来るのかも。これまでにええチャンスが私にありました。